

記入例

令和 ●● 年寄附分

市町村民税
道府県民税

寄附金税額控除に係る申告特例申請書

第五十五号の五様式
附則第二条の四

令和 ●● 年 ●● 月 ●● 日 大津町長 殿	整理番号	
住所 〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字 大津1233番地	フリガナ	オオヅ タロウ
	氏名	大津 太郎
	個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
電話番号 096-293-3111	性別	男 女
	生年月日	明・大 昭平 ●●年 ●●月 ●●日

「個人番号」欄には、あなたの個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。）を記載してください。

個人番号（マイナンバー）を記入してください。

あなたが支出した地方団体に対する寄附金について、寄附金税額控除に係る申告の特例（以下「申告の特例」という。）の適用を受けようとするときは、下の欄に必要な事項を記載してください。

(注1) 上記に記載した内容に変更があった場合、申告特例対象年の翌年の1月10日までに、申告特例申請事項変更届出書を提出してください。

(注2) 申告の特例の適用を受けるために申請を行った者が、地方税法附則第7条第6項（第13項）

寄附をした年月日と金額を記入します。

※同じ自治体に複数回寄付をした場合、その都度申請書を提出する必要があります。

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
令和 ●● 年 ●● 月 ●● 日	10,000 円

2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、
②に該当する場合、それぞれ下の欄の□に

「確定申告をする必要のない」方が、ふるさと納税による寄附をした場合のみチェックしてください。

① 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者である



(注) 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に該当すると見られる者をいいます。

①と②どちらも該当する場合のみワンストップ特例の申請が可能です。

その年のふるさと納税による寄附先が「5自治体」以下であると見込まれる場合のみチェックをしてください。（寄附回数ではなく、寄附先の自治体数）

② 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者である



(注) 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数に5以下であると見込まれる者をいいます。

----- (切り取らないでください。) -----

令和 ●● 年寄附分

市町村民税
道府県民税

寄附金税額控除に係る申告特例申請書受付書

住所	〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津1233番地	受付日付印
氏名	大津 太郎 殿	

整理番号

受付団体名